

講義科目名称：多文化とコミュニティ

授業コード：

授業科目の区分等：基礎教育科目 教養

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	選択
担当教員			
飯塚 真弓			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	SS (社会)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	現代では、世界的に人の移動が活発になり「異文化」に出会うことは、もはや日常の出来事となっています。群馬県も例外ではありません。私たちは、文化的背景の異なる隣人といかに結びつき、理解し、共に生きるべきでしょうか。また、異文化のみならず、障害、ジェンダーやセクシュアリティにかかわらず、誰もが幸せを追求できるコミュニティを実現するためには、どうしたらよいのでしょうか。本講義では、主に文化人類学の視点から、日本と世界における多文化社会の現状と課題についての事例を取り上げ、受講生のみなさんとともに、多文化社会のあり方について考えていきます。		
授業計画	第1回	ガイダンス 講義概要、スケジュール、評価方法の説明、自己紹介、1分間スピーチの説明を行います。また、次回授業に向けてワールドカフェの説明とグループ分けやテーマ発表を行います。	
	第2回	ワールドカフェ ワールドカフェという対話方法を用いて、予め設定したテーマで小人数グループでの会議を行い、多文化とコミュニティについての理解を深めます。	
	第3回	群馬のエスニック・コミュニティ 群馬県内のエスニック・コミュニティを事例に、世界的な移民や移住の歴史と現状について学びます。	
	第4回	文化のはざまで生きること 映画『ハーフ』を事例に、国籍や人種、文化とは何か、また複数の文化のはざまで生きることについて考えます。	
	第5回	日本のなかの民族問題① アイヌ民族の歴史と文化について学び、日本のなかの民族問題についての理解を深めます。	
	第6回	日本のなかの民族問題② 在日コリアン・華人の歴史と文化について学び、日本のなかの民族問題についての理解を深めます。	
	第7回	ディベート 第3回～第6回の授業内容をもとに、日本の外国人労働者受け入れについて、ディベートを行い、その現状と課題について考えていきます。	
	第8回	障害とともに生きる 国内外のユニバーサルデザイン、アウトサイダー・アートなどを事例として、障害とともに生きること、さらには社会におけるダイバーシティについて考えます。	
	第9回	人のつながりの多様性を考える 世界の多様な婚姻・ジェンダー・セクシュアリティのあり方を学び、人と人とのつながりの多様性について考えていきます。	
	第10回	ディスカッション 第8回、第9回の授業内容をもとに、少人数によるディスカッションを行い、差別とその感情について考えます。	
	第11回	世界の宗教の基礎知識 信じるという行為はどのようなものか、世界の宗教や信仰についての基礎知識を学びます。	
	第12回	グローバル化とナショナリズム ショナリズムや国家、民族という概念はどのように生まれたのか。戦争や紛争、それに付随する難民、民族問題や差別の問題についても考えていきます。	
	第13回	世界の食と民族衣装からみる文化の混交 世界の食文化と食にまつわる実践、ならびに装うという行為から世界の民族や宗教、暮らしについて考えます。	
	第14回	ビブリオバトル 多文化とコミュニティに関連するテーマで書かれた本について、受講生によるビブリオバトルを行います。	
	第15回	まとめ これまでの講義をまとめ、世界の多文化社会と日本の未来について考えます。	
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	グローバルな視野と価値観を尊重する姿勢、ならびに組織において協働できる能力を身に付けます。		
到達目標	①世界と日本の文化の多様性を理解し、②日本における「多文化社会」について自ら考え、多文化共生を目指すコミュニティについて、具体的な方策を提案できるようになる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業内で、もしくはmellyを用いてフィードバックを行います。		
履修上の注意	授業では、毎回冒頭に1分間スピーチを行います。日頃から異文化やダイバーシティにかんする新聞や雑誌などメディアの情報に積極的に目を通しておくようにしてください。なお、授業では現地調査の資料、さらには国立民族学博物館の貸出資料なども活用し、受講生の皆さんが直接異文化に触れる機会をできるだけ多く設ける予定です。ディベートやディスカッション、ビブリオバトルなど参加型のカリキュラムで構成されているので、欠席しないようにして下さい。		

成績評価の方法・基準	1分間スピーチ(10%)、ディベート、グループワーク、ディスカッション、ビブリオバトルへの貢献度(40%)、定期試験(50%)により評価します。
教科書	特に指定しません。
参考書・教材	「多文化社会で多様性を考えるワークブック：柔軟な思考力・共感力を鍛えるために」、有田佳代子ほか(編)、研究者、2018年。「多文化共生：人が変わる、社会を変える」、松尾慎ほか(著)、凡人社、2018年。その他は授業内にて適宜紹介します。
備考	受講者数によってシラバスの内容や授業方式を変更する場合があります。
教員との連絡方法	melly